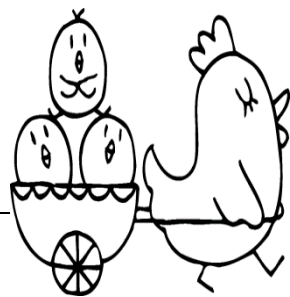


ひよこだよ！

草笛学園 2024年 12月・1月号



12月に入りすっかり寒くなってきていますね。風邪などひかないように、あたたかい服を着たり、温かい食べ物を食べたりしながら寒さ対策をしてくださいね。紅葉も美しく、赤や黄色になった葉っぱを見つけたり、どんぐりや松ぼっくりを拾ったりすることもできます。落ち葉の上をカサカサ音を立てて散歩することも楽しいですね。太陽のもとで元気に過ごすとともに、冬支度を親子で楽しんでくださいね！！



親の思う通り 子どもを育てたい

子どもが親の思うとおりにならなくてイライラする体験は誰もが持っているのではないのでしょうか。知らず知らずに陥ってしまいがちな思いです。子育て情報がいっぱいの中で、一層そんな思いが強くなるのでしょうか。いささか経験的ですが、子どもは親が「こうして欲しい」と思うことに限ってしてくれません。反対に「これだけはして欲しくない」と思うことに限ってやってしまいます。

なぜでしょうか。たぶん「して欲しいこと」は、親も気になっていて、ついつい口うるさくなったり、無理にさせようとするから嫌になってしなくなる。反対に「しては困ること」は、それを子どもがするときつく叱ってしまったり、禁止をしたりする。そうすると、子どもはこれをしたら大人は振り向いてくれると“学習”してしまいます。ほめられることの少ない子どもにとっては怒られることも大人に関わってもらえることの一つのチャンスなのです。それほど周りを求めている子どもの切実なサインとみるべきです。

「して欲しいこと」は、まず大人がしてみせる。大好きな大人が面白そうにしていると、子どもは自分もやってみたいと思います。うまくできてほめてもらえたらもっとやってみようかと思えます。気分よくできることが大事なのです。

「して欲しくないこと」は、極端に言うと、放っておくことです。指吸いやいたずらなど、例はいっぱいあります。「やめなさい！」「ダメ！」と言わずに、ほかの遊びに誘うのです。楽

しい時間を過ごせたら子どもは満足します。そして、困らせて大人を振り向かせるよりも上手なサインの出し方を学習することでしょう。危険なことをしたときも同じです。「叩いてわからせる」ことは問題の解決になりません。危険なことをしたときはすぐに子どもを抱きとめ、表情ははっきりと、怒鳴らずに強い口調で「ダメ！」、そしてどんなに小さい子どもでも「なぜ危ないのか」を話します。できるだけ話は短く、そしてその後、その子の好きな遊びに誘います。

「うちの子は何度言ってもまた同じことをする」という声が聞こえてきそうです。その時も「また、何度言えばわかるの！」と怒鳴らずに、初めてやったのと同じように話します。根気よく。そして、なぜ子どもがそれをするのか、子どもの気持ちになって「わけ」を考えてみてください。きっと子どもなりのわけがあるはず。ここが分かれば親として及第です。このやり方は子どもが大きくなってからも必要です。ぜひ、子どもが小さいときから「大人の関わり方」のポイントとして学習して欲しいことのひとつです。

参考文献：『ちょっと気になる子どもと子育て』 池添 素 著

次回のひよこ教室は…『さーきと』をします！

| | |
|------|------------------------|
| ひよこ① | 1月はありません 2月 1日(土) |
| ひよこ② | 1月 18日(土) 2月 15日(土) |

〈持ってくるもの〉 お茶・着替え(必要な人)

『参加される皆様へ』 ~ご協力をお願いします~

- お休みをされる場合は、学園までご連絡下さい
- **参加費は無料です。**制作や、クッキングの活動の時には材料費として+100円いただきます。その都度お知らせします。おつりのいらないうちご用意下さい
- 活動は主に草笛学園遊戯室です
- 靴は下駄箱に入れて下さい
- 水分補給のため、お茶を用意して下さい(ジュース類は控えて下さい)
- きょうだい児の参加は、ご遠慮下さい。預け先がない場合は事前に職員までご相談下さい
- トラブルによるケガ防止のため、参加前に爪を必ず切ってきて下さい

